

1. 目的及び概要

「神戸電鉄粟生線」の活性化・利用促進を目的として、自動車から公共交通（粟生線）への利用転換を効率的・効果的に進めるため、主に以下の取組を実施した。

① 沿線住民を対象としたトラベル・フィードバック・プログラム

※ トラベル・フィードバック・プログラム(TFP)とは、モビリティ・マネジメントの手法の一つで、一人ひとりの自律的な行動変化を促すコミュニケーション型のプログラム

※ モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりの行動や意識を変化させ、自らの自発的な意思によって、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態へと変えていく交通施策

② 沿線企業を対象としたモビリティ・マネジメント

③ シンポジウムの開催

2. 沿線住民を対象としたトラベル・フィードバック・プログラム

(1) 概要

「粟生線」の利用促進を目的として、粟生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の住民を対象に、自分自身の移動手段について振り返っていただき、今よりも“粟生線利用”を増やすことができな
いかを考えていただくための“きっかけ”づくりと、さらに、実際に粟生線を利用していただくため
の呼びかけを、アンケート形式で実施した。具体的には以下の2段階で実施した。

● 第1ステップ(9月中旬)

沿線 10,000 世帯(駅から概ね1km圏内の世帯を対象)に、「粟生線」利用を促す動機付け冊子と、コミュニケーションアンケートを郵送配布・回収した。

(神戸市:3,375 世帯、三木市:4,552 世帯、小野市:2,073 世帯)

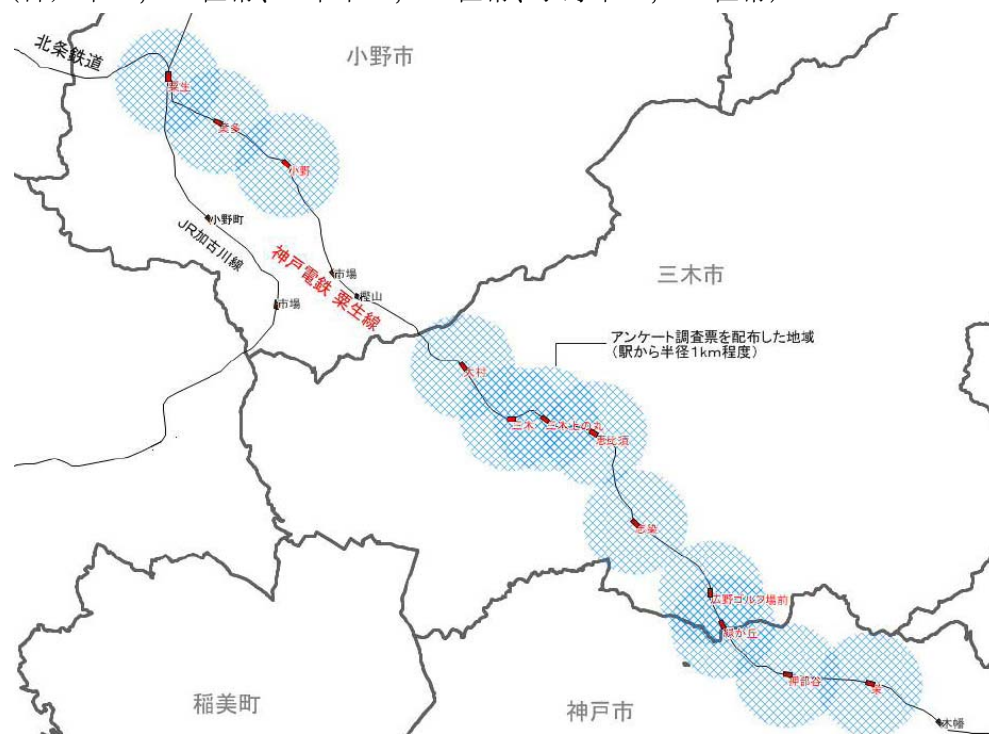


図 調査対象地域